

みぬま見聞館だより No.64

令和4年6月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

写真はクゲヌマランです。さいたま市東部環境センターより、昨年移植した物が今年花を咲かせました。よくギンラン（埼玉県のRDB植物編：絶滅危惧Ⅱ類）に似ていて間違われることがあるそうです。

今年は、気候が早い時期から夏日になったり寒くなったりを繰り返しているため、植物が4月に一斉に開花してしまいました。今年、オオムラサキはエノキの葉を白い袋で覆い、その中に幼虫を入れて飼育を試みています。何匹チョウになってくれるでしょうか。是非、観察に訪れてください。



クゲヌマラン

カイツブリ



芝川調査中に、2種類のカイツブリが一緒に行動しているところを発見しました。

専門家にお聞きしたところ写真左側は繁殖羽（夏羽）で写真右側は非繁殖羽（冬羽）とのことです。

カイツブリは真冬でも繁殖するそうです。写真の2羽が親子であるか、つがいであるかは不明ですが、子育ての時は雌雄同色で左の色になります。写真がありませんが子育ての時は子供を背中に乗せる写真が図鑑等によく掲載されています。今年、芝川で子育てが見られるかもしれません。魚やザリガニなどを餌にします。

カタツムリ・・・冬越し中



庭園の木道を修理中、側の土の中から、カタツムリ（ヒダリマキマイマイ）が出てきました。始め死んでいると思い手に取ってみると重さがあり、乾燥防止で入口に膜を張っていました。寒い冬を必死に乗り切ろうとしている冬眠の姿を見ることができました。

他の職員からカタツムリは夏眠もすると言う話を聞き、調べてみると夏に温度があまり上がりすぎると高温と乾燥から体内の水分蒸発を避けるため同じように膜を張るそうです。これから暑い季節になります。是非、夏の夏眠も観察してみましょ。

ケラの子供・・・冬眠中



写真①

写真②

写真③

木道の修理中に枕木の中で冬眠しているケラ(写真①)を見つけました。成虫(写真③)に比べて色も薄く、大きさも小さいです。手に取ってみると小さい身体からは信じられない程の腕の力を出し指の間から必死に逃げようとしてました。

手はモグラの手(写真②)のようになっており、湿地に巣穴を掘って地中で生活します。

日本の童謡『手のひらを太陽に』の歌詞にも出てきますが、普段は湿地にいるためなかなか目にすることがありません。後日、春の雨の日に木道を歩いていると成虫が横断している所にちょうど遭遇しました。無事に成長してくれたみたいです。

かんきょうほぜん とくべつしょう とくせんさくひん こうようしゃ
環境保全ポスター特別賞と特選作品を公用車にラッピングしました

さいたま市では、環境保全についての意識啓発や環境にやさしい電気自動車の普及を図ることを目的に、「さいたま市環境保全ポスター作品コンクール」において「特選」に入賞した作品を、大宮南部浄化センター、クリーンセンター大崎、環境創造政策課で使用している電気自動車に毎年ラッピングしています。令和3年度は、市誕生20周年記念として市内清掃事務所のゴミ収集車にもラッピングしました。

応募のあった285点から選ばれた「市誕生20周年特別賞」作品2点と「特選」作品3点をラッピングし、常盤小学校、桜木小学校、沼影小学校においてお披露目式を行いました。



ときわしょうがっこう さいとう ゆい
 常盤小学校 斎藤由唯さん



ときわしょうがっこう むらやまりょうたろう
 常盤小学校 村山遼太郎さん



さくらぎしょうがっこう いとう さな
 桜木小学校 井藤咲那
 さん



ぬまかげしょうがっこう こいずみ だい ち
 沼影小学校 古泉大地
 さん



ぬまかげしょうがっこう ひがしか れん
 沼影小学校 東奏怜
 さん

えんげいしゆ はな さか
園芸種のイカリソウが花を咲せました



いぜん しみん かた いただ はな さ
 以前、市民の方から頂いたイカリソウが花を咲かせました。やっと花が咲くとピンクではなく、黄色い花が咲きました。

しら えてみる と えんげいしゆ
 調べてみると園芸種のイカリソウでした。イカリソウは埼玉県のレッドデータブック2011植物編では準絶滅危惧種として掲載されています。

はな きれい えんげいよう さいばい ばあい おお
 花が綺麗なため園芸用に栽培されている場合が多いそうです。メギ科の植物で、花の形が船の錨に似ているところから名前がつけられました。この花は錨の形からは少し違ってきます。

春の自然観察会・環境学習会を行いました



写真①



写真②



写真③

4月24日(日曜日)に5月1日『さいたま市民の日』に関連した催しものとして、春の自然観察・環境学習会を行いました。当日は、8組23名の参加があり、環境対策課による生物多様性の話(写真①)、春の自然庭園に出て、学校プールから救出したヤゴの放流、シタケの種コマ打ち体験、生き物ビンゴ、併せて生き物調査を行いました。(写真②)研修室に戻りエコライト作りを行い、子供達が撮影した庭園の生き物の発表会を行いました。(写真③)

団体見学について



①庭園散策



②コマの絵付け



③桜の前で記念撮影



④パルソアター見学

・3月18日 神戸幼稚園が卒業遠足で訪れました。(写真①②)

・3月24日 天沼保育園が卒業遠足で訪れました。(写真③④)

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上でそれぞれ2班に分かれ対応いたしました。

なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 FAX048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター(みぬま見聞館)

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数 6,400部 単価 10.4円

